

# 視聴覚教育

NO. 255  
 発行日 11. 9. 1  
 発行 岡崎市AVL  
 編集 現職教育委員会  
 視聴覚部

**視聴覚用語**  
 「ノンリニア編集」  
 ビデオカメラで撮影した映像を編集するとき、映像データをパソコンに取り込んで編集作業をすること。必要な画像の順序を入れ替えたり追加や削除が容易にできる。

## 夏期実技講習会報告

学校が夏季休業に入った七月中旬から八月下旬にかけて、視聴覚、情報関係の実技講習会を開催しました。

◆視聴覚教育技術者へ十六ミリ映写機操作認定講習会  
 七月三十一日(土)

於 情報ネットワークセンター

十六ミリ映写機の取り扱い資格者養成を目的として実施しました。社会教育関係者三十七名、学校教育関係者四十八名の参加を得ました。映写機の台数を増やして機器に触れる時間を確保したり、自作のビデオ番組で操作方法を学習したりと、中身の濃い講習会になりました。



◆VTR実技講習会

八月二日(月)

於 情報ネットワークセンター

初級コースに社会教育関係者二十三名、学校教育関係者十二名、中級コースに社会教育関係者六名、学校教育関係者八名、計四十九名の参加を得て行いました。初級コースでは、カメラを使って基本的な撮影方法を実習し、中級コースでは持ち寄った映像を編集して作品に仕上げました。

◆校内放送講習会

八月三日(火)

於 情報ネットワークセンター

市内の小中学校から、放送担当の児童生徒と教師約二百名の参加を得て行いました。梅園小学校と城北中学校の校内放送の実践発表に引き続き、フリーアナウンサー森本曜子さんによるアナウンスの楽しさや技術についての講演と実技指導が行われました。サテライトスタジオで行われたニュース原稿を読む実習は、まるで本物のニュース番組のようでした。

◆パソコン講習会

八月二日(月)

於 竜海中 他三校

ウィンドウズ95の基本操作やワープロソフト「ワード」の使い方などを実習しました。

|| 視聴覚教育あれこれ ||

## 中学校放送コンテスト

### 愛知県大会の結果

七月三日(土)、NHK名古屋放送局において、平成十一年度NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会が行われた。岡崎市内の中学校の結果は以下の通りである。

#### 《アナウンス部門》

- ・最優秀 中島 佑実 (常磐中学校)
- ・優良 近藤 示佳 (城北中学校)
- ・入選 高橋 智子 (常磐中学校)
- 森川 菜穂 (城北中学校)
- 太田 翔子 (美川中学校)
- 西久保優羽 (城北中学校)
- 大戸 望 (矢作中学校)

#### 《朗読部門》

- ・最優秀 市川亜佑美 (城北中学校)
- ・優良 深津 敦子 (美川中学校)
- ・入選 加藤 純子 (常磐中学校)
- 奥村 有香 (城北中学校)

#### 《ラジオ番組部門》

・優良 「挨拶って大事だね」 矢作中学校

#### 《テレビ番組部門》

- ・優秀 「がんばれ！生物部！カワバタモロコを守れ！」 東海中学校
- ・優良 「土鈴で車椅子をおくろう」 常磐中学校
- ・入選 「心の扉、勇気ということ」 矢作中学校

実践報告Ⅱ

# 大好きな先生や友だちに 手紙を書こう

竜美丘小学校 松野 美樹

特殊学級の子供たちに、手紙に書き方や濁音・撥音・促音などの言葉の表記の仕方に目を向けさせたり、手紙を書く楽しさを味わわせたりしたいと考え、実践を進めた。手紙文作りにパソコンソフト「キッドピクス」を使うと、手軽にひらがなや漢字を使うことができる。間違えたときには前の操作を取り消して作業を続けることができる、などの理由からである。

文字入力、マウス操作による「おしゃべり文字スタンプ」で行った。しかし、6年生のA男は物足りなかつたようなので、キーボードでの文字入力を教えた。また、子供たちは長い手紙文を書くことができないので、自分たちの写真を取り込んだ手紙文を書くことにした。写真の取り込みは、教師がフロッピーディスクに保存しておいたものを子供たちが取り込んだ。

濁音を表記することができなかつたB男は、おしゃべり文字スタンプの機能により

竜美丘小学校の



へてんきさんみおす  
おしゃべり文字スタンプ

会いたいです、  
勉強を  
したいです、  
ひろき  
おしゃべり文字スタンプ

「」にこだわりが持て、濁音表記できるようになった。C男は、宛名表記を「○○さんえ」から「○○さんへ」と正しく表記できるようになった。またA男は、長音や撥音を表記できないことがあったが、漢字変換をすることでまったく違う漢字になってしまいうことで自分の間違いに気づき、少しずつ表記の仕方が身についてきた。パソコンの利用によって、粘り強く手紙文作りに取り組むことができたと言っている。

## レッツ・トライⅡ

### パソコン室のネットワーク

小中学校のパソコン室は、先生機（サーバー）と生徒機（クライアント）がネットワークで結ばれています。ネットワークを利用すると、ハードディスク（「先生の何でも」や「先生の読むだけ」）やプリンターを共有できます。

先生機で作成した問題や資料を「先生の何でも」に保存しておく、生徒機から自由に読み書きができるため、課題の配布や提出にもプリントやフロッピーディスクは必要ありません。また、生徒機で作成した作品をプリントアウトできるのも、ネットワークのおかげです。

中学校では現在、高速ネットワークを構築して一度に多くの生徒機からインターネットへの接続などが可能となる整備が進められています。授業での活用が期待されています。

（情報教育主任会 広報部）

## ライブラリーだより

### 自作視聴覚教材作品募集

市内の幼稚園・小中学校に勤務する先生方の自作した視聴覚教材を募集しています。

#### 〔募集部門〕

- ①ビデオ教材
- ②スライド教材
- ③マルチメディア教材
- ④OHP・TP教材

#### 〔規定〕

- ①②③については、愛知県自作視聴覚教材コンクール実施要項を参照してください。
- ④OHP・TPは次のとおりです。
- ・一時間または一単元で、教材・領域は自由
- ・一人一作品または一グループ（代表者明記）一作品
- ・TP枚数は制限なし
- ・未発表のもの（ただしコピーなど著作権に抵触しないよう配慮すること）作品方法は自由
- ・TP一枚ごとに学校・園名・氏名を記入
- ・厚紙の封筒に作品を入れ、封筒の表に、題名、所属名、氏名を記入した自作応募票を貼付

#### 〔応募先〕

すべての部門とも、十二月十日（金）までに岡崎市視聴覚ライブラリーへご提出ください。

#### ●教材配達サービスのお知らせ

二期の教材配達は、九月七日（火）から開始します。ご利用ください。